

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公開実用平成 3-6608

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-6608

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)1月23日

G 02 B 6/245
B 26 B 27/00
H 02 G 1/12

3 0 4

G 7366-3C
6969-5G
9017-2H

G 02 B 6/00

F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 光ファイバ被覆ストリッパー (Device for removing of optical fiber)

⑯ 実 願 平1-66540

⑰ 出 願 平1(1989)6月6日

⑱ 考 案 者 佐 藤 高 明 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 考案の名称

光ファイバ被覆ストリッパー

2. 実用新案登録請求の範囲

互いに向い合わされて一端同志が開閉可能に蝶着された2つのフレーム部材の其々に、これらフレーム部材の閉時に光ファイバの被覆を挟み込み切断する切断刃を向い合わせて配設してなる光ファイバ被覆ストリッパーにおいて、フレーム部材の先端部の向い合った位置へ、フレーム部材の閉時に丁度面接触する一対の弾性板を設けたことを特徴とする光ファイバ被覆ストリッパー。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は光ファイバ被覆ストリッパーの構造に関する。

〔従来の技術〕

従来、光ファイバの被覆は、第3図、第4図に示すようにフレーム部材1、2の其々へ、これらフレーム部材1、2の閉時に光ファイバ3の被覆を挟み込み切断する切断刃4を向い合わせて配設した光ファイバ被覆ストリッパを用いて切断し、さらに矢印の方向にストリッパを移動させる操作で除去していた。

〔考案が解決しようとする課題〕

上述した従来の光ファイバ被覆ストリッパでは、被覆除去時に切断刃が光ファイバ表面を擦すり傷を付ける可能性があった。

〔課題を解決するための手段〕

本考案の光ファイバ被覆ストリッパは、被覆除去時において切断刃によるガラス表面への傷発生を皆無とするため、フレーム部材の先端部の向い合った位置に1対の弾性板を用けこの弾性板間に光ファイバをハサミ込み、この摩擦力により被覆除去を行なおうとするものである。

〔実施例〕

次に本考案について図面を参照して説明する。

第1図は本考案の一実施例の斜視図である。第2図は本考案の光ファイバ被覆ストリッパーにより被覆を除去している状態を示した斜視図である。

第1図において、フレーム部材1'、2'は従来の光ファイバ被覆ストリッパーと同様一端で蝶着されているが、他端部の向い合った位置に一对の弾性板5が張付けてある。この弾性板5はフレーム部材1'、2'の閉時に丁度面接触するよう位置調整されている。

第2図のように、被覆を切断した光ファイバ3'は、被覆切断箇所6を弾性板5の近傍に配置し、次にフレーム部材1'、2'を閉じた後矢印の方向に光ファイバ被覆ストリッパーを動かすことで被覆除去される。

〔考案の効果〕

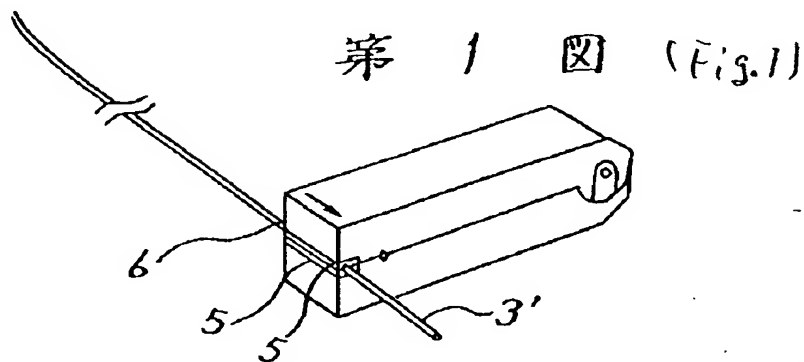
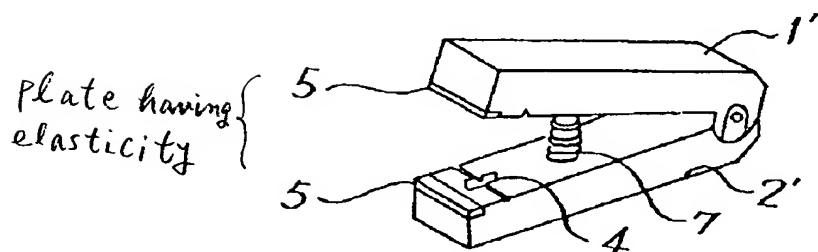
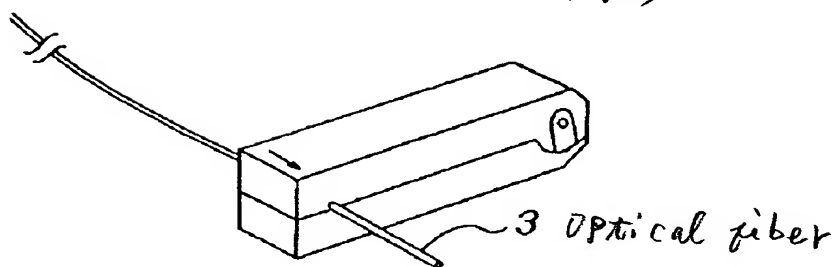
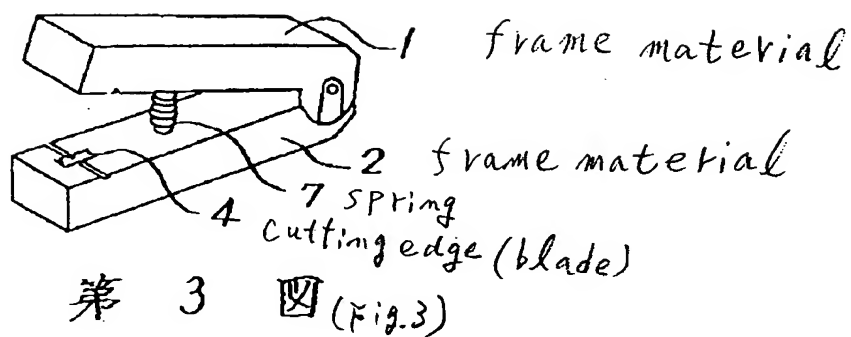
以上説明したように本考案の光ファイバ被覆ストリッパーを用いれば被覆除去時に切断刃と光ファイバのガラスとの接触がないため、切断刃と光ファイバのガラスとの擦れによる傷発生を完全に排除できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の光ファイバ被覆ストリッパを示す斜視図、第2図は本考案により光ファイバの被覆を除去している状態を示す斜視図、第3図は従来の光ファイバ被覆ストリッパを示す斜視図、第4図は従来の光ファイバ被覆ストリッパにより被覆を除去している状態を示す斜視図である。

1, 1' ……フレーム部材、2, 2' ……フレーム部材、3, 3' ……光ファイバ、4 ……切断刃、5 ……弾性板、6 ……被覆切断箇所、7 ……スプリング。

代理人 弁理士 内 原 晋



79
第 2 圖 (Fig. 2) 実開 3-6608

代理人 弁理士 内 原 晋